



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月31日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社  
コード番号 4410 URL [www.harima.co.jp](http://www.harima.co.jp)

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理・財務グループ長 (氏名) 上辻 清隆

TEL 06-6201-2461

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	75,700	8.8	1,946		1,492	665.6	724	
2024年3月期第3四半期	69,606	3.1	193		194	94.3	108	

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,401百万円 (49.2%) 2024年3月期第3四半期 2,761百万円 (47.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	29.86	
2024年3月期第3四半期	4.47	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	99,857	37,142	36.6
2024年3月期	98,583	40,881	37.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 36,503百万円 2024年3月期 37,217百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		21.00		21.00	42.00
2025年3月期		21.00			
2025年3月期(予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	10.5	3,000		2,500		1,550		63.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	26,080,396 株	2024年3月期	26,080,396 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,815,014 株	2024年3月期	1,846,943 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	24,252,610 株	2024年3月期3Q	24,221,075 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米における高金利水準の継続や中国経済の低迷、原材料やエネルギー価格の高止まりに伴う物価上昇などにより、経済環境は不透明な状況が続きました。

日本経済は、雇用・所得環境の改善への期待やインバウンド需要に支えられ、経済活動は緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、原材料やエネルギー価格をはじめとした物価の上昇が経済環境に影響を及ぼしました。

このような環境下、当社グループの海外事業は、欧州の需要が低迷したものの、北米の需要が堅調であったため、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。利益面は、原材料価格の低下やコスト削減に取り組んだことにより、増益となりました。

国内事業は、市場価格が上昇したこともあり売上高は前年同四半期に比べ増収となり、利益面も売上高の増加に伴い前年同四半期に比べ増益となりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は757億円となり、前年同四半期に比べ60億9千3百万円(8.8%)の増収となりました。

利益面では、営業利益は売上高の増加に伴い19億4千6百万円(前年同四半期は営業損失1億9千3百万円)となりました。経常利益は14億9千2百万円となり、前年同四半期に比べ12億9千7百万円(665.6%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千4百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億8百万円)となりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	当第3四半期(A)	前第3四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	75,700	69,606	6,093	8.8
営業利益 又は損失(△)	1,946	△193	2,140	—
経常利益	1,492	194	1,297	665.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は四半期純損失(△)	724	△108	832	—

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

①樹脂・化成品

(単位：百万円)

	当第3四半期(A)	前第3四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	15,987	16,241	△253	△1.6
営業利益	115	171	△56	△32.9

ブラジル子会社Harima do Brasil Indústria Química Ltda.の株式をブラジル従業員に譲渡し、連結対象外となったことなどに伴い、売上高は159億8千7百万円と、前年同四半期に比べ2億5千3百万円(△1.6%)の減収となりました。営業利益は1億1千5百万円と前年同四半期に比べ5千6百万円(△32.9%)の減益となりました。

- ・塗料用樹脂は、上半期は物価高の影響や、天候不順の影響によって建築外装用塗料の需要が減少しましたが、下半期以降持ち直したことにより売上高は前年同四半期並みになりました。
- ・印刷インキ用樹脂は、商業用印刷などに使用される平版インキ市場の縮小が続いているものの、原材料価格高騰による販売価格の値上げが進んだことにより、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。
- ・合成ゴム用乳化剤は、タイヤ需要が低調に推移しましたが、その他用途の需要が持ち直したことで原材料価格高騰による販売価格の値上げにより、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。

②製紙用薬品

(単位：百万円)

	当第3四半期(A)	前第3四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	20,179	18,076	2,103	11.6
営業利益	1,417	1,108	308	27.8

売上高は、201億7千9百万円と前年同四半期に比べ21億3百万円(11.6%)の増収となりました。営業利益は、14億1千7百万円となり、前年同四半期に比べ3億8百万円(27.8%)の増益となりました。

- ・紙力増強剤は、国内では段ボール原紙の需要の減少が継続しましたが、売上高は前年同四半期並みになりました。中国では板紙の生産量が増加したことにより、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。
- ・サイズ剤は、国内は紙・板紙の生産量が減少し、売上高は前年同四半期に比べ減収となりました。米国は販売先が増えたことに伴い、販売数量が増加し、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。

③電子材料

(単位：百万円)

	当第3四半期(A)	前第3四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	10,007	8,732	1,275	14.6
営業利益	462	413	48	11.7

売上高は、100億7百万円と、前年同四半期比に比べ12億7千5百万円(14.6%)の増収となりました。営業利益は4億6千2百万円となり、前年同四半期に比べ4千8百万円(11.7%)の増益となりました。

- ・はんだ付け材料は、海外の販売数量が増加し、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。
- ・熱交換器用ろう付け材料は、市況が悪化している中国やタイ向けの自動車用熱交換器の需要減少により、売上高は前年同四半期に比べ減収となりました。
- ・半導体用機能性樹脂は、生成AI向けの半導体需要が好調で、市況も好調に推移したことにより、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。

④ローター

(単位：百万円)

	当第3四半期(A)	前第3四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	26,487	23,723	2,763	11.6
営業利益 又は損失(△)	775	△1,378	2,154	—

売上高は、264億8千7百万円と、前年同四半期に比べ27億6千3百万円(11.6%)の増収となりました。営業利益は、販売数量が増加したことに加え、原材料価格の低下や経費削減に取り組んだことにより7億7千5百万円(前年同四半期は営業損失13億7千8百万円)となりました。

- ・粘接着剤用樹脂分野は、合成ゴム用乳化剤が低調に推移しましたが、欧州、アジアを中心に水系粘着付与剤が好調であったこと、北米で路面標示塗料用樹脂が好調に推移したことにより、前年同四半期に比べ増収となりました。
- ・印刷インキ用樹脂分野は、物価上昇に伴う消費財の需要が減少し、新聞や商業印刷などの出版用インキの出荷が落ちこみましたが、新規販売先の獲得により北米での販売数量が増加し、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2024年12月31日末(A)	2024年3月31日末(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
流動資産合計	53,971	53,588	382	0.7
固定資産合計	45,885	44,995	890	2.0
資産合計	99,857	98,583	1,273	1.3
流動負債合計	52,567	47,690	4,877	10.2
固定負債合計	10,146	10,012	134	1.3
負債合計	62,714	57,702	5,011	8.7
純資産合計	37,142	40,881	△3,738	△9.1
負債純資産合計	99,857	98,583	1,273	1.3
自己資本比率	36.6	37.8	—	△1.2

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前期末に比べ12億7千3百万円増加し、998億5千7百万円となりました。増減の主な内容は以下の通りです。

(流動資産) 現金及び預金が33億3百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が19億1千2百万円増加し、商品及び製品が21億2千7百万円増加しております。

(固定資産) 投資有価証券が7億8千9百万円減少しましたが、有形固定資産その他(純額)が16億2千6百万円増加しております。

(流動負債) 1年内返済予定の長期借入金が13億2千2百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が9億2千8百万円増加し、短期借入金が51億2千3百万円増加しております。

(固定負債) その他が1億5千万円増加しております。

(純資産) 資本剰余金が11億3千3百万円減少しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(2024年4月1日から2025年3月31日)の業績予想につきましては、2024年10月31日の第2四半期(中間期)決算発表時の公表数字を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,851	3,548
受取手形及び売掛金	21,846	23,758
商品及び製品	8,593	10,721
原材料及び貯蔵品	14,580	13,588
その他	1,860	2,468
貸倒引当金	△143	△113
流動資産合計	53,588	53,971
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,589	8,630
機械装置及び運搬具（純額）	9,827	10,036
その他（純額）	10,081	11,707
有形固定資産合計	28,498	30,374
無形固定資産		
顧客基盤	3,861	3,722
その他	1,123	1,005
無形固定資産合計	4,985	4,728
投資その他の資産		
投資有価証券	9,992	9,202
退職給付に係る資産	213	411
その他	1,316	1,170
貸倒引当金	△11	△1
投資その他の資産合計	11,511	10,783
固定資産合計	44,995	45,885
資産合計	98,583	99,857

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,725	11,653
短期借入金	29,925	35,049
1年内返済予定の長期借入金	1,322	—
未払法人税等	340	182
役員賞与引当金	—	65
訴訟損失引当金	613	—
その他	4,762	5,617
流動負債合計	47,690	52,567
固定負債		
長期借入金	6,200	6,200
長期預り保証金	489	483
役員退職慰労引当金	16	18
退職給付に係る負債	119	93
資産除去債務	39	53
その他	3,146	3,297
固定負債合計	10,012	10,146
負債合計	57,702	62,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012	10,012
資本剰余金	9,743	8,609
利益剰余金	16,836	16,522
自己株式	△1,760	△1,727
株主資本合計	34,832	33,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	546	786
為替換算調整勘定	1,892	2,341
退職給付に係る調整累計額	△54	△43
その他の包括利益累計額合計	2,385	3,085
非支配株主持分	3,663	639
純資産合計	40,881	37,142
負債純資産合計	98,583	99,857



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
売上高	69,606	75,700
売上原価	56,240	58,882
売上総利益	13,366	16,817
販売費及び一般管理費	13,559	14,871
営業利益又は営業損失(△)	△193	1,946
営業外収益		
受取利息	223	84
受取配当金	85	139
不動産賃貸料	28	22
持分法による投資利益	402	—
その他	332	367
営業外収益合計	1,073	613
営業外費用		
支払利息	453	689
持分法による投資損失	—	186
為替差損	160	92
その他	70	98
営業外費用合計	684	1,067
経常利益	194	1,492
特別利益		
投資有価証券売却益	193	295
関係会社清算益	—	95
特別利益合計	193	391
特別損失		
投資有価証券評価損	—	152
関係会社出資金売却損	—	265
その他	33	10
特別損失合計	33	428
税金等調整前四半期純利益	355	1,455
法人税、住民税及び事業税	△763	604
法人税等調整額	1,050	125
法人税等合計	286	730
四半期純利益	68	725
非支配株主に帰属する四半期純利益	176	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△108	724

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	68	725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	269	239
為替換算調整勘定	2,403	424
退職給付に係る調整額	18	11
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	2,692	676
四半期包括利益	2,761	1,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,332	1,401
非支配株主に係る四半期包括利益	429	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である杭州杭化哈利瑪化工有限公司の株式を非支配株主から追加取得したこと等により、資本剰余金が1,133百万円減少しております。

その結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が8,609百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂・化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,241	18,076	8,732	23,723	66,774	2,892	69,667	△60	69,606
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	542	—	—	625	1,168	200	1,368	△1,368	—
計	16,783	18,076	8,732	24,349	67,942	3,092	71,035	△1,428	69,606
セグメント利益 又は損失(△)	171	1,108	413	△1,378	315	19	335	△528	△193

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額288百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△796百万円等が含まれております。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂・化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,987	20,179	10,007	26,487	72,662	3,010	75,673	27	75,700
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	184	156	—	527	867	204	1,072	△1,072	—
計	16,172	20,336	10,007	27,014	73,530	3,215	76,745	△1,044	75,700
セグメント利益	115	1,417	462	775	2,770	72	2,842	△895	1,946

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額67百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△966百万円等が含まれております。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,002百万円	2,115百万円

2025年3月期 第3四半期決算短信  
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2024/3期		2025/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
連結	23.2億円	33.3億円	40.1億円	52.0億円

2. 減価償却実施額

	2024/3期		2025/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
連結	20.0億円	27.2億円	21.1億円	28.0億円

3. セグメント別売上高

	2024/3期		2025/3期	
	第3四半期(実績)	通期(実績)	第3四半期(実績)	通期(計画)
樹脂・化成品	162.4億円	214.3億円	159.8億円	210.0億円
製紙用薬品	180.7億円	246.2億円	201.7億円	281.0億円
電子材料	87.3億円	115.8億円	100.0億円	134.0億円
ローター	237.2億円	311.8億円	264.8億円	355.0億円
その他	28.9億円	37.0億円	30.1億円	40.0億円
調整額	△0.6億円	△2.0億円	0.2億円	0.0億円
合計	696.0億円	923.3億円	757.0億円	1,020.0億円

4. 海外売上高

	2024/3期		2025/3期	
	第3四半期(実績)		第3四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	153.2億円	22.0%	183.4億円	24.2%
欧州	125.0億円	18.0%	117.1億円	15.5%
アジア、オセアニア	124.9億円	17.9%	148.6億円	19.6%
合計	403.2億円	57.9%	449.2億円	59.3%